

令和8年度 学校教育目標

木津川市立木津第二中学校

1 めざす生徒像（不変の目的）

- 『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高めあう生徒 【社会の創り手となる生徒の育成】
『礼節』 礼儀と節度を守る生徒 【他者を価値のある存在として尊重できる生徒の育成】
『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒 【多様な人々と協働できる生徒の育成】

2 学校教育目標（長期経営目標）

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓く力を育み、社会の創り手となる生徒を育成する。

3 学校経営方針（中期経営目標）

- (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による、基盤的学力と探究心の育成
～基礎的読解力・数学的思考力・情報活用能力を土台とし、社会で生き抜く力を養う～
(2) 自己有用感を高め、多様な他者と共生・協働できる学校風土の醸成
～認め合い、高め合う集団づくりを通じた、豊かな人間性と社会性を育成する～

4 本年度の指導の重点（短期経営目標）

- (1) **授業改善と学力保障：主体的・対話的で深い学びの実現**
・「わかった」「次も頑張る」を実感させる授業を創造する。
・全教科において「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進し、学びの質を高める振り返りの活動を充実させる。
・指導と評価の一体化による個別の学習支援の最適化を図る。
・一人一人に寄り添った継続的な指導を通じ、評価『C』の解消等の学習課題の解決と評価の向上を目指す、組織的な支援体制を確立する。
・挑戦を尊び、対話を重んじ、誰一人取り残さない学びを創る。
- (2) **豊かな人間性と社会性の育成：自己有用感と他者尊重の醸成**
・生徒指導の実践上の視点、「自己存在感の受容」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」を全教育活動の基盤とし、生徒の資質・能力を多面的に育む。
・ユニバーサルデザイン（UD）視点による学びのユニバーサル化を図る。
・情報の視覚化（番組表の活用等）や構造化を徹底し、すべての生徒が安心して参加できる授業環境を構築する。
・すべての生徒の個性を伸ばす「発達支持的生徒指導」を活かしたアプローチを展開する。
・振り返りの共有を通じて他者理解と集団の質的向上を図る。
- (3) **安心・安全な教育環境と組織力の向上：「包容力」のある学校づくり**
・地域資源・人材を積極的に活用し、社会とつながる学びを展開する。
・保護者の願いに寄り添い、生徒の成長を共に見守る強固なパートナーシップを確立する。
・「気づく・伸ばす・展望する・挑戦する・つながる」を指標とした定期的な自己研鑽と、教職員集団の縦横の連携強化を図る。
・同和教育の成果と手法を継承しつつ、障がい特性や生育環境を深く理解した、きめ細やかな指導体制を構築する。
・生徒が「包み込まれている」と実感できる組織運営を推進する。

5 本年度の研究主題 「令和8年度木津川市特色ある学校づくり推進事業」指定

1 事業内容

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善 ～生徒指導を意識した授業改善～

2 研究テーマ

誰もが自分を心から好きになれる学校を目指して ～ 高めあい・認めあい・木津二あい～